

平成21年2月20日

## 第1回「上尾道路（江川地区）環境保全対策検討会議」 の議事概要について

標記の会議が、以下のとおり開催されましたのでお知らせいたします。

- 1.開催日時 平成21年2月3日（火） 16:00～18:00
- 2.開催場所 上尾市役所 会議室
- 3.議事概要

### 1) 議事及び事業者説明要旨

会議の設立趣意、規約等について

上尾道路周辺における環境保全の取り組みについて

- ・江川流域づくり推進協議会のなかでの上尾道路における環境保全の施策と今回の概ねの検討範囲を説明  
これまで実施してきた調査について
- ・動植物の生息状況を説明  
保全にあたっての考え方
- ・保全する動植物の検討対象種を抽出する考え方について説明  
保全対象種に対する影響について
- ・道路をつくることによって、保全対象種に与える影響項目について説明  
全体の流れ（スケジュール（案））
- ・第2回会議を3月中に開催し、会議後から4月上旬に対策手法が確立されていない一部種の移植試験（作業）に着手。並行して地元計画説明会及び用地相談会を実施して行きたいことを説明

### 2) 意見・助言の概要

上尾道路周辺における環境保全の取り組みについて

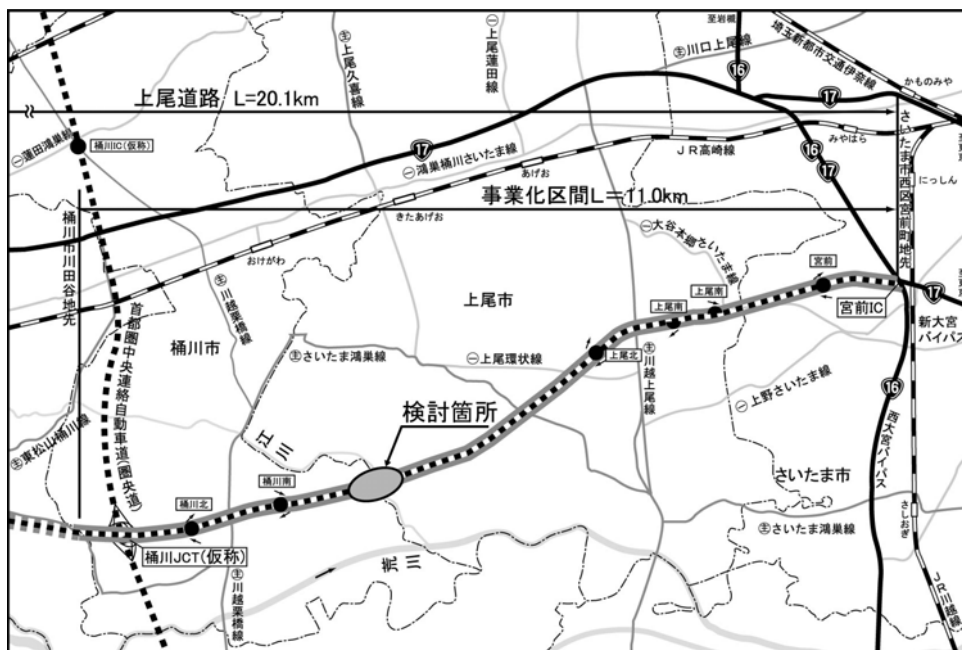
- ・「上尾道路の江川下流域周辺における環境保全の取組み（案）」をたたき台にするのであれば、その資料を会議員へ配布して欲しい。  
これまで事業者が実施してきた調査、保全にあたっての考え方、保全対象種について
- ・検討範囲を、道路部分だけでなく環境アセスメントと同様な範囲とすべき。
- ・都市計画決定時の平面構造から、今回の高架構造に変わった経緯とその理由を説明していただきたい。
- ・事業者の示した対策案は、日照障害にポイントを当てているが、環境アセスメントに準じた項目と、工事中的影響なども検討する必要がある。
- ・絶滅危惧種のみを保全対象にしているが、国家戦略である生物多様性（里山や湿地）を維持して行く観点からも検討する必要がある。
- ・植物の移植事例について、次回以降議論できるよう、移植結果を把握し提示すること。

- ・植物の移植ありきなのか。対象としている貴重種の移植はほとんど失敗している。移植実験をするのであれば、長期の観測と評価が必要である。
- ・環境団体としては、地下構造がよいという意見がある。
- ・最新の土木技術には、自然環境への影響が少ない工法や橋脚形状も考えられることから、橋梁の一般的な図や複数の構造を示して欲しい。
- ・上尾道路の環境や地域分断を心配してきたが、計画が決まってから 20 年以上経過し、地元では、「いつ出来るのか」から、最近では「早く作れ」というような声にも変わってきている。
- ・現地では、湿地への盛土が個人により行われており、道路が建設されなくても、今のままでは湿地が無くなってしまう。
- ・昔は農作物の耕作とともに周辺のヨシ等を農家が刈り取りし、植物の生育が良かったが、江川の氾濫により農地を放棄する農家が増えた。このため植物種の数が減ってきている。
- ・現地把握のため、会議員の現地見学を実施して欲しい。

#### スケジュールについて

- ・次回会議は、4月中旬に現地見学とともに開催の予定。

#### 4.位置図



(以上)